

令和6年度 中央工学校 運営計画

1. 建学の目的と学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

中央工学校は、明治42年(1909年)「工業技術を教授し、もって実務的な技術者を養成する」ことを目的として設立された。校是を「堅実」とし、「厳しい実務教育」と「人間涵養教育」による正しい職業観の育成に努めている。また、学習指導の重点を「理論より実際」とし、「誠実で社会性豊かな技術者」を育てることを不変の使命とする。よって本校が求める人材像は、

- ・自らの技術により自立を志す者
- ・協調性をもち人とのかかわりを大切にする者

であり、これをもって学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)と定める。

2. 基本的運営方針

- (1) 実技・実習による「厳しい実務教育」を教育の中核とする。
- (2) 「人間涵養教育」により豊かな社会性を有する技術者を育成する。

3. 令和6年度 重点管理指針

- (1) 「厳しい実務教育」「人間涵養教育」の推進
- (2) 「第三者評価」の受審
- (3) 学校運営の再構築

4. 具体的方策

(1) 「厳しい実務教育」「人間涵養教育」の推進

ア. 厳しい実務教育

学校内での講義や実習だけでなく、即戦力として必要な実務に即した学外での実習を実施する。また、企業と連携して実務研修(インターンシップ)を推進する。

(ア) 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・総合建設実習(必修) ※建築学科・建築工学科・建築設計科・木造建築科・建築設備設計科
- ・施工管理実習(必修) ※建築学科・建築工学科
- ・内装施工管理実習(必修) ※建築室内設計科
- ・木造建方実習(必修) ※木造建築科
- ・伝統建築調査(必修) ※木造建築科
- ・地域密着型実践教育(必修) ※建築学科・建築工学科・建築室内設計科
- ・東京都職業能力開発協会による専攻実習(必修) ※建築学科・建築工学科 施工専攻
- ・校外設営実習(必修) ※エンターテインメント設営科
- ・舞台設営実習(必修) ※エンターテインメント設営科
- ・クリスマスチャリティーコンサート舞台設営(必修) ※エンターテインメント設営科
- ・入学式舞台演出(必修) ※エンターテインメント設営科

(イ) 工業第二教員室(土木・測量・造園・3DCAD)

- ・総合建設実習(必修 足場・地盤・下水道・型枠施工・鉄筋組立) ※土木建設科
- ・総合建設実習(必修 造園施工) ※造園デザイン科
- ・総合測量実習(必修) ※土木建設科・測量科・地理空間情報科・土木測量科

(ウ) 商業・文化教員室(情報ビジネス・リベラルアーツ・グローバル)

- ・インターンシップ(特別選択) ※情報ビジネス科
- ・異文化コミュニケーション(必修) ※リベラルアーツ科・グローバル科
- ・ビジネスプランニング(必修) ※情報ビジネス科

イ. 人間涵養教育

(ア) 軽井沢合宿研修(委員長：生川 清孝)

社会人として必要な集団規律やコミュニケーション能力の向上、また、日本文化の理解と継承などを目的に、全学生必修の軽井沢合宿研修(2泊3日)を実施する。

(イ) 生活指導

生活指導主事を中心に、通学時のマナー指導や挨拶運動(8時50分～9時10分、下校時)とともに、校舎や教室の美化に対する指導も実施する。

(2) 「第三者評価」の受審

教育の質保証の観点から、「特定非営利活動法人 職業教育評価機構」の第三者評価を受審する。

(3) 学校運営の再構築

ア. 令和10年度に向けた「中央工学校 中期計画」の策定

5年後を見据え、「設置科構成」「定員」「学費」「校舎使用計画」「単位制導入」などの学校運営について、具体的な計画を策定する。

イ. 在学中の二級建築士資格取得を目標とした学科の開設

- ・開設年度 令和8年度
- ・開設学科 工業専門課程 二級建築士専攻科(昼間1年制)
- ・募集定員 60名

(4) 継続して運営する重要事項

ア. 法令等の遵守による適正な学校運営

(ア) 授業時間数の確保と曜日毎の均等化

- ・ 計画休日の実施 4月30日(火) ※昼間のみ
5月1日(水)・5月2日(木)・10月29日(火)
- ・ 祝日授業の実施 4月29日(月：昭和の日) ※夜間のみ
5月6日(月：こどもの日の振替休日)
7月15日(月：海の日)
9月23日(月：秋分の日振替休日)
10月14日(月：スポーツの日)
11月4日(月：文化の日振替休日)
2月11日(火：建国記念日)
- ・ 曜日変更の実施 5月24日(金)は水曜日の授業を実施 ※昼間のみ
10月30日(水)は月曜日の授業を実施
- ・ 土日授業の実施 建築科、土木測量科(年間10日前後)

(イ) 個人情報管理(個人情報管理責任者：課長・室長)

学生や保護者から提出された個人情報については、法令を遵守し厳重に管理する。
また、運用システムに関する個人情報漏洩防止対策の強化も図る。

(ウ) 禁煙指導の徹底

改正健康増進法等により、学校敷地内は全面禁煙としている。未成年者の禁煙指導徹底を図るとともに、近隣への配慮も考慮した適切な指導を実施する。また、令和7年4月より北区指定喫煙所(北とぴあ)廃止への対応策を検討する。

(エ) 授業目的公衆送信補償金制度

著作権法に定められた「授業目的公衆送信補償金制度」を遵守するとともに、映像等の録画・録音及び二次使用などについても適切に管理する。

イ. 「誇りある学校づくり」の推進

(ア) 新入生歓迎イベント(教務課長)

新入生を対象とした学科やクラス単位でのレクリエーション(球技大会、ボウリング大会、ハイキングなど)を実施する。

(イ) 第58回 飛鳥祭(委員長：嶋崎 晃平)

- ・ 開催月日：10月26日(土)～27日(日)

(ウ) クラブ・同好会活動(委員長：飯田 慶太)

- ・ 運動系(空手道、山岳、卓球、野球、バドミントン、硬式テニス、サッカー、スノーボード、軟式テニス)
- ・ 文化系(建築倶楽部、模型同好会、クリエイターズサークル、軽音)

(エ) 研修旅行

- ・工業第一教員室：国内研修(建築) ※特別選択 夏季実施予定
国内研修(デザイン) ※特別選択 時期未定

(オ) 学生作品の展示

- ・RISE 3階 建築関連学科
- ・RISE 4階 デザイン関連学科、土木測量造園関連学科、機械CAD関連学科
- ・STEP 4階 各種イベント展示

(カ) 中央工学校歴史館の見学(新入生対象)

- ・母校の歴史と伝統を学ぶ機会とする。

(キ) 中央工学校 同窓会(会長：春日 泰、事務局：岡部 公一)

- ・在学生を対象とした支援や助成活動(各種学校行事)
- ・各地域の同窓会活性化による卒業生推薦募集の推進
- ・卒業生を招いた講演会やパネルディスカッションの開催
- ・卒業生を対象とした母校見学会(王子校舎、軽井沢研修所)などの開催

(ク) 創立120周年に向けた準備(教務課長)

令和11年(2029年)の創立120周年に向けて、令和2年から10年間の出来事をまとめた年史の作成準備を進める。

ウ. 職業実践専門課程の実質的運営

認定学科 15学科(昼間13学科、夜間2学科)

学校運営全般を評価する「学校評価(自己評価・学校関係者評価)委員会」と教育課程全般を評価する「教育課程編成委員会」からの指摘事項などに対し、学校全体で改善に努める。なお、令和6年度は、委員の改編期となる。

(ア) 学校評価(自己評価・学校関係者評価)委員会

6月：業務監査(各部署による自己評価)

10月：令和6年度自己評価期間(自己評価書作成)

1月：学校関係者評価委員会 開催

2月：自己評価書・学校関係者評価書 公表(HP) → 次年度運営計画に反映

(イ) 教育課程編成委員会(工業専門課程・商業実務専門課程)

7月：第1回教育課程編成委員会 開催

12月：第2回教育課程編成委員会 開催 → 次年度運営計画に反映

随時：各教育系WG 開催

(ウ) 申請および廃止の手続き

令和6年度 廃止 機械学科(4年制) ※令和2年度募集停止

令和7年度 申請 3DCAD設計科(2年制) ※令和5年度開設

エ. 留学生指導と在籍管理の徹底

出入国在留管理庁からの指導に従い、在学中の修学支援や資格外活動の管理などを適切に行う。

- ・工業専門課程「留学生の在学中の諸手続きについて」
- ・商業実務専門課程及び文化・教養専門課程「留学生指導の手引」

オ. キャリアプランに応じた進路指導

(ア) 進路指導

クラス担任と就職指導課のダブルサポートにより、多様性社会に対応した幅広く細やかな進路相談(キャリアカウンセリング)を行う。

(イ) 就職指導

本校学生専用の就職支援ポータルサイト運用と学外専門サイトを活用し、優良企業の求人票や情報の提供、個別紹介を重点に充実させる。

- ・就職指導ガイダンス(年3回)や各種講習会の実施(WEB開催、希望制)
- ・就職模擬面接の実施(1~3月クラス別、個別希望制)
- ・就職支援マニュアルの改訂(WEB関連教材の充実)
- ・進路決定調査、アンケートの実施(就職状況の適切な掌握)
- ・企業面談と企業訪問および情報交換会への参加により1,000社と面談実施
- ・求人票の依頼と受付、公開(求人のための学校案内書の12,500社へ発送)
- ・実務研修(インターンシップ)等の企業関係

(ウ) 進学指導

クラス担任と教務課により、上位資格の取得や技術・技能の専門深化を図る学内進学、大学編入学や大学院進学などの進学指導を行う。

(エ) 留学生の進路指導

- ・工業専門課程 クラス担任、教務課(留学生担当者)、就職指導課
- ・商業実務専門課程及び文化・教養専門課程 商業・文化教員室(クラス担任)

(オ) 中央工学校 人材育成後援会(会長：田中 崇彦、事務局：就職指導課)

学生を支援する企業約450社の後援会を運営し、合同企業説明会(2月、5月の年2回)や総会などを開催する。

カ. 教職員の資質向上のための研修

実務教育を行う教職員には、新しい知識や技能の習得、資格取得が不可欠であることから、以下に記載の研修などにより自己研鑽に努める。

(ア) 職業実践専門課程の認定に係る研修

- ・専攻分野における実務に関する研修
- ・指導力向上のための研修
- ・学校運営に関する研修

(イ) 新入教職員研修

- ・学内研修 専修学校制度、職業実践専門課程、高等教育の修学支援新制度、軽井沢研修所、奨学金制度、留学生教育、レポート作成 等
- ・外部研修 キャリア教育プログラム(主催 一般財団法人 中央工学校生涯学習センター)

(ウ) 中堅教職員研修

- ・外部研修 キャリア教育プログラム(主催 一般財団法人 中央工学校生涯学習センター)

(エ) 教員研修(委員長：魚野 健太郎)

- ・教員室による研修発表会(随時開催)
- ・教員研修発表会(中央工学校OSAKAとの共同開催)

8月16日(金) STEP ホール

(オ) 東京都専修学校各種学校協会主催の研修

- ・専修学校教職課程研修会 研修者：服部 日向(工業第二教員室)

(カ) 校外研修

- ・関連業界や企業等が開催する技術講習会や研修会

ク. 積極的広報による入学促進

110周年記念校舎(2・3号館)をストロングポイントとした積極的な広報を図るとともに、新たなる広報活動として半日体験入学を実施し、イベント参加者数の増加を図る。また、広報連絡会議を開催し、教員室との情報交換等を積極的に行うとともに、非出願者へのアンケート調査を実施し広報活動の検証を行う。

- ・一日体験入学(12回)
- ・半日体験入学(15回) ※午後開催
- ・学校説明会(14回) ※午後開催
- ・総合型選抜入試エントリー説明会(9回) ※午前開催
- ・オープンキャンパス(8回) ※午前開催の個別入学相談会
- ・オンライン学校説明会(10回) ※午前開催、10月以降は状況に応じて追加
- ・保護者対象学校説明会(1回) ※午前・午後開催
- ・1stSTEP 体験入学(1回) ※高校新2年・3年生対象
- ・ミニしごと倶楽部(2回) ※午後開催
- ・学校説明会 in 軽井沢研修所(2回) ※午後開催
- ・夜間個別入学相談会(5回予定) ※令和6年11月～令和7年1月
- ・専門学校進学説明会(通年) ※令和6年4月～令和7年3月
- ・Tokyo しごと倶楽部 2024 ※主催：(一社)専門学校コンソーシアム Tokyo
- ・高校訪問(通年、職員・在校生による訪問を含む)

5. その他

(1) 学修成果の公開【令和5年度実績】

ア. 学修成果の発表の場を広く求め公開

- ・ 第23回 専門学校卒業作品展示会
- ・ 第46回 学生建築設計優秀作品展
- ・ 第32回 JIA 東京都学生卒業設計コンクール

イ. 学修意欲高揚を目的として各種コンペティションへ出展

(ア) 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・ 第21回 主張する「みせ」学生デザインコンペ
- ・ 専門学校卒業作品展示会ポスターコンテスト
- ・ 建築学縁祭～Rookie 選～
- ・ 第35回 丹波の森ウッドクラフト展
- ・ 第4回 「隈研吾&東川町」KAGU デザインコンペ
- ・ 第18回 若年者ものづくり競技大会(建築大工)

(イ) 工業第二教員室(土木・測量・造園・3DCAD)

- ・ 「くらしと測量・地図」展
- ・ 第50回 全国造園デザインコンクール
- ・ フラワー&ガーデンショウ横浜2023(第6回 ガーデニングコンテスト)

(ウ) 商業・文化教員室(情報ビジネス・リベラルアーツ・グローバル)

- ・ 第20回 ビジネスプロデュースコンペティション

(2) 在学中の資格取得(チャレンジプロジェクト)

在学中の資格取得を目指すことを目的としたチャレンジプロジェクトを推進するとともに、引き続き取得率向上に向けた指導体制の強化を図る。また、教育内容に特化した資格取得の他、社会人として必要な知識の向上を目的とした資格取得を、学生全員が取り組むことを推進する。

ア. 学校全体で取り組む資格

- ・ 2級施工管理技術検定(建築・管工事・土木・造園)
- ・ ビジネス能力検定(2級・3級)

イ. 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・ 福祉住環境コーディネーター(2級・3級)
- ・ 2級リビングスタイリスト
- ・ 色彩検定(2級・3級)
- ・ パース検定(2級)
- ・ 商業施設士補
- ・ 建築積算士補
- ・ 建築大工技能士(2級・3級)

- ・ AutoCAD ユーザー試験
- ・ Vector works 操作技能認定試験
- ・ インテリアコーディネーター
- ・ イベント検定試験
- ・ 足場の組立等の業務に係る特別教育
- ・ フルハーネス型安全带使用作業特別教育

ウ. 工業第二教員室(土木・測量・造園・3DCAD)

- ・ 造園技能士(2級・3級)
- ・ 車両系建設機械運転技術者
- ・ 小型移動式クレーン運転者
- ・ 玉掛け技能者
- ・ 3次元CAD利用技術者試験(準1級・2級)
- ・ 2次元CAD利用技術者試験(2級)
- ・ CSWA 認定試験
- ・ CSWP 認定試験
- ・ 3Dプリンター活用技術検定試験
- ・ 機械・プラント製図技能士(3級)

エ. 商業・文化教員室(情報ビジネス・リベラルアーツ・グローバル)

- ・ 日商簿記検定
- ・ 全経簿記能力検定試験
- ・ ビジネス実務マナー検定試験
- ・ 秘書検定
- ・ MOS 試験(Microsoft office specialist)
- ・ 日本語能力試験
- ・ BJT ビジネス日本語能力テスト

オ. 在校生向け特別講座(生涯学習事業)

- (ア) 在校生及び社会人を対象とした二級建築士受験対策講座の開催
- (イ) 在校生を対象とした専門分野の資格試験対策講座及び特別教育講習等の開催
 - ・ 福祉住環境コーディネーター2級受験対策講座
 - ・ 丸のこ等取扱作業の安全衛生教育講習
 - ・ 第二級陸上特殊無線技士養成講座
- (ウ) STEP 施設を活用した各種セミナー、講演会の開催
 - ・ ステップアップセミナー(著名建築家を招いた講演会を年3回開催)
 - ・ 就活セミナーや年金セミナー等(無料スキルアップ講習)

(3) 教育機関他との連携強化

高等学校や専門学校などとの教育連携を推進し、相互理解と信頼関係を構築する。
また、公共機関や地域住民との連携についても積極的に推進する。

ア. 高等学校

(ア) 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)

- ・第19回 高校生対象コンペティション(本校主催)
- ・舞台設営(クリスマス JAZZ コンサートにおける会場設営)実習(本校主催)
- ・東日本建築教育研究会
- ・全国設備工業教育研究会
- ・全国高等学校インテリア科教育研究会
- ・派遣授業(設備実習：東京都立田無工業高等学校)

(イ) 工業第二教員室(土木・測量・造園・3DCAD)

- ・高校生対象測量士補模擬試験(本校主催)
- ・群馬県立吾妻中央高等学校連携実習(本校主催)
- ・東日本高等学校土木教育研究会総会・研究協議会
- ・機械CAD系コンテスト(本校主催)

(ウ) 在校生による母校訪問

休暇期間など利用して在校生が母校を訪問し、高等学校関係者に修学状況や学修成果、卒業後の進路などを報告することにより高等学校との連携強化を図る。

イ. 専門学校

(ア) (一社)専門学校 コンソーシアム Tokyo

- ・夏季教員研修会：8月上旬 会場未定
- ・Tokyo しごと倶楽部 2024：7月30日(火) 服部栄養専門学校
- ・教育活動報告会：9月19日(木) 中央工学校 STEP ホール
- ・電気工事関連実習(日本電子専門学校との連携授業)

(イ) 全国工業専門学校協会

- ・令和6年度 定例総会：6月27日(木) アルカディア市ヶ谷私学会館
- ・学生による成果報告会：10月上旬 会場未定

(ウ) 全国専門学校建築教育連絡協議会

- ・令和6年度 定例総会：6月8日(土) 浅野工学専門学校

(エ) 全国専門学校土木教育研究会

- ・令和6年度 全国大会：8月21日(水)～22日(木) 近畿測量専門学校

(オ) 全国専門学校電気・電子教育研究会

- ・令和6年度 総会：未定

ウ. 公共機関や地域住民

- (ア) 工業第一教員室(建築・インテリアデザイン・エンターテインメント)
 - ・夏休み 木のおもちゃづくり体験
- (イ) 工業第二教員室(土木・測量・造園・3DCAD)
 - ・「“遊び” から始まる体験教室 Ver.3」【小学生対象】
 - ・近隣住民宅及び名主の滝公園等の剪定作業
- (ウ) 商業・文化教員室(リベラルアーツ・グローバル)
 - ・北区立中央公園文化センター国際交流講座
- (エ) 学校施設の貸出事業(生涯学習事業)
 - ・STEP ホールや各実習室を中心とした学校施設の貸出
- (オ) 法務省法務局・地方法務局測量講習(教務課・工業第二教員室)
 - ・基礎(4週間 28名)×3コース
 - ・応用(5か月間 28名)×1コース

(4) 保護者との連携(運営担当：工業第一教員室)

- ・保護者教育懇談会：5月18日(土) ※令和6年度運営計画配付
- ・保護者対象軽井沢研修所施設見学会：6月15日(土)～16日(日)
- ・保護者通信発送(前・後期)

(5) 学生管理

ア. 出席指導

遅刻・欠席が常態化することのないよう、担任による根気強い指導を行う。

イ. 学籍異動に対する適切な指導(各教員室・教務課)

復学者に対する全員面接を実施し、学習意欲と休学理由解決の確認を行う。

ウ. 学生保険

在校中だけでなく、通学時やインターンシップなどの課外授業等にも適用される24時間対応の保険に加入して保障の充実を図っている。

エ. スクールライフアンケートの実施

新入生を対象にスクールライフアンケートを実施し、学生の性質などを把握に努め個々の学生に合わせた指導に役立てる。

4月 自己発見検査(自身の特徴や持ち味、集中力やモチベーションなどを確認)

7月 スクールライフアンケート(学習意欲や学生生活の状況を確認)

(6) 学生満足度の向上

ア. 新入生アンケート・卒業生アンケート

アンケート結果を学科運営や学生満足度の向上に役立てる。

イ. 授業評価・授業アンケート

学生による授業評価・授業アンケートにより学習満足度の測定を行い、必要に応じ教授方法の共有と改善を行う。

ウ. 成績概況

学籍異動状況・科目平均点・出席率をはじめとした学習状況をまとめ、傾向の考察と改善に向けた対策を講じる。

エ. 入学前指導(令和7年度入学生対象：工業第一教員室)

・春期デッサン講座(令和7年3月下旬5日間)

オ. 付帯施設

学生レストラン「SORA」、購買(ミニコンビニ・教材販売)、駐輪場などの運営などに関する学生からの改善要望などについては、教務課が関係部署と連携し必要な改善を図る。

カ. 図書館(RISE)

- ・学生サービスを第一とした運営
- ・利用者のニーズに即応できる選書や配架の整備
- ・Web上での図書貸出検索ページの公開準備
- ・図書及び文献データの長期保存や補修に関する研究と対応

キ. 在校生への経済的支援

令和2年度施行された「高等教育の修学支援新制度」や独立行政法人日本学生支援機構各種などの各種奨学金制度の他、本校独自の奨学金制度などに関する情報の周知を図るとともに、相談や申し込みなどに関するサポートを行う。

(7) 防災対策の整備

ア. 避難訓練の実施

(ア) 新入生を対象とした避難場所の確認(4月ガイダンス)

- ・第1次避難場所：王子第二小学校
- ・第2次避難場所：北区中央公園

(イ) 校舎別避難訓練

- ・前期 2号館(工業第一教員室、工業第二教員室)
- ・後期 3号館(工業第一教員室、工業第二教員室)

イ. 防災備蓄

(ア) 防災備蓄品(学生と教職員等に対し3日分)

- ・14号館地下1階(200個)、17号館1階(1,610個)
- ・消費期限：令和10年

(イ) 防災用トイレ

- ・約27,000回分
- ・使用期限：令和11年

ウ. AED装置の設置

(ア) 設置場所

- ・1、2、5、14、16、17、21号館に合計7台

(イ) 操作方法習得の講習会

- ・8月16日(金) 教員研修発表会終了後

エ. 非常時の学生連絡【学生手帳 P25】

非常時等が発生した場合は、本校ホームページ(<https://chuoko.ac.jp>)や入学時に設定した Google classroom で連絡する。

【学生手帳 P25】

台風や積雪等により、王子駅を通過する京浜東北線に障害が発生し、通学が困難になった場合の授業実施については、中央工学校のホームページ上にて発表する。

ホームページへの掲載時刻

昼間：午前6時

夜間：午後3時

在校中の場合には、その都度、学内放送または担任等より連絡する。

※原則として休講はしない。やむを得ず休講(授業打ち切りを含む)となる場合には、代替授業を別途定めて実施する。

※災害等への対応

災害等が発生した場合、必要に応じて対面(通学)授業を遠隔(リモート)授業に切り替え学修(授業)活動を継続する。また、各種実習や学校行事などについては、内容を変更する場合がある。

以 上